

CONTENTS PAGE

TOP (巻頭言) 神経変性疾患治療の展望 高橋 良輔 1

A SPECIAL EDITION

免疫性神経疾患の治療学

Therapeutics in Neuroimmunological Disorders

1	総論：免疫性神経疾患の治療学：現在と未来	山村 隆	4
2	多発性硬化症における疾患修飾薬治療の実践	岡本 智子	6
3	フィンゴリモド治療のベネフィットとリスク	新野 正明・宮崎 雄生	10
4	新規治療薬の開発	佐藤 和貴郎	14
5	血液浄化療法の意義と有用性	林 幼偉	19
6	自己免疫性脳炎の診断と治療	飯塚 高浩	24
7	IL-6 阻害薬の可能性	荒木 学	30

「バイオクリニカ編集委員会 (特集企画)」 (順不同)

編集委員 (代表) 黒川 清 (東京大学名誉教授・政策研究大学院大学名誉教授) 本庶 佑 (京都大学特別教授)
 矢崎義雄 (公益財団法人日本心臓血管病研究会 理事) 北 徹 (京都大学名誉教授) 戸田剛太郎 (東京慈恵会医科大学客員教授) 小池和彦 (東京大学医学部教授)
 門脇 孝 (東京大学医学部教授) 黒川峰夫 (東京大学医学部教授) 小室一成 (東京大学医学部教授) 戸田達史 (東京大学医学部教授)
 [初代委員長] 織田敏次 (東京大学名誉教授・日赤医療センター名誉顧問) 顧問 岡 博 (東京大学名誉教授・東京警察病院名誉院長)

CONTENTS PAGE

NEWS FROM INDUSTRY

1	バイोजェニックス複合乳酸菌生産物質「Sixteens®」のメタボローム解析	村田 公英	34
2	「腸内フローラ」が作り出す物質が健康のカギを握る!	光岡 知足・村田 公英	37
3	パーキンソン病のイメージング研究：サル脳を対象にしたPET研究	塚田 秀夫	41

BIOLOGY TOPICS

・延髄の神経幹細胞による髄鞘修復	平塚 大士・宮田 清司	48
・主成分分析 (PCA) を用いた進行型多発性硬化症動物モデルの解析	佐藤 文孝	53
・軸索関連分子 LOTUS を応用した多発性硬化症の診断バイオマーカー	高橋 慶太・田中 章景 他	60
・イメージング質量分析法を用いた多発性硬化症のバイオマーカー探索	池川 雅哉	96

CLINICAL TOPICS

・脊髄性筋萎縮症：ヌシネルセン治療の効果を定める要因について	杉本 真里・齊藤 利雄 他	65
・多発性硬化症患者への漸進的筋弛緩法の試み	森谷 利香	71
・多発性硬化症等の自己免疫疾患治療薬作出のための化合物スクリーニング	倉田 里穂・米澤 朋 他	76
・進行性多巣性白質脳症のマネージメント	田原 将行	80
・多発性硬化症 他 (多発性硬化症, 視神経脊髄炎, ギラン・バレー症候群, 神経ペーチェット病, 自己免疫疾患脳炎の最近の話題)	尾上 祐行・宮本 智之	86
・Charcot's concept から見る視神経脊髄炎	河内 泉	101

当社は、その理由の如何に係わらず、本誌掲載の記事(図版・写真等を含む)について、許諾なしにコピー機による複写、他の印刷物への転載等、複写・転載に係わる一切の行為、並びに翻訳、デジタルデータ化等を行うことを禁じます。無断でこれらの行為を行いますと損害賠償の対象となります。
 連絡先：(株)北隆館 著作・出版権管理室 03-5720-1162 e-mail: hk-ns2@hokuryukan-ns.co.jp URL: http://www.hokuryukan-ns.co.jp

「バイオクリニカ編集委員会 (特集企画)」 (順不同)

編集委員 萩原 正敏 (京都大学医学部教授) 川上正舒 (自治医科大学名誉教授・練馬光が丘病院院長)
 中尾一和 (京都大学医学部教授) 板倉光夫 (徳島大学名誉教授) 三木哲郎 (愛媛大学名誉教授) 祖父江 元 (名古屋大学医学部教授)
 千葉 勉 (京都大学名誉教授) 熊ノ郷 淳 (大阪大学医学部教授) 高橋 良輔 (京都大学医学部教授) 金倉 譲 (大阪大学医学部教授)
 稲垣 暢也 (京都大学医学部教授) 妹尾 浩 (京都大学医学部教授) 木村 剛 (京都大学医学部教授)